



花粉症の新しい治療法

「舌下免疫療法」

って何？

花粉症の原因となる物質を 治療に使う



免疫療法とは、アレルギーの原因となる物質（アレルゲン）を投与して徐々に慣らしていく治療法のことです。スギ花粉症の場合は、スギ花粉を原料とした薬品（エキス）を用います。

これまでもアレルゲンを皮下に注射する方法は広く行われてきましたが、近年では治療薬を舌の下に投与する「舌下免疫療法」が広まり、自宅でも治療が可能になりました。もちろん、治療にあたっては医師の診察を受けた上で決められた量だけを服用する必要があります。

唯一「花粉症が治った！」が 期待できる治療法



舌下免疫療法の優れた点は、花粉症の治療の中でも寛解（長期にわたって症状が出ないこと）が期待できることです。

アレルギー性の症状は、基本的に完治することは非常に難しいです。しかし舌下免疫療法は、治療に3～5年ほど時間はかかるものの、効果は長く続くと考えられています。すべての患者さんが必ず治るというわけではありませんが、全体的にみると程度の差こそあれ80%以上の方に効果があるとされています。

服用する手順



一般的に、1日1回以下のような手順で行います。

- ①薬品（スプレーもしくは液体）を舌の下に投与する
- ②2分間そのまま保持した後で飲み込む

なお、治療を開始できるのは花粉が飛んでいない時期だけです。また、口内が腫れたりかゆみが発生したりしたときは、副作用のおそれがあるためすぐに受診する必要があります。

費用は どれくらいかかる？



2014年に、舌下免疫療法の新薬が保険適用となりました。その結果、1ヶ月あたり2000円～2,500円の負担で済むことが多いようです（ケースにより異なります）。もちろん治療は長期間にわたりますし、定期的な検査の費用もかかるため、その点は考慮する必要があります。

実施している医療機関は、かかりつけの医師に聞いてみるでもいいですし、製薬会社のホームページ等からも調べることができます。